

ふくし ふれあい CONTACT WITH WELFARE

2013
SUMMER
夏号
No.58

発行 一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会 発行者 上田 淳 編集者 吉永徹男 E-mail rofuku@lime.ocn.ne.jp
事務局 熊本市中央区九品寺1丁目17-9 熊本県労働会館内 TEL 096-372-0915 FAX 096-372-0600
http://kumamoto.rofuku.net/

第 2 回
(通算47回)
総会 開く

制度や仕組みの外に置かれている人に手を 貧困や格差の連鎖に歯止めをかける運動へ

一般社団法人となって2年目を迎えた熊本県労働者福祉協議会(=県労福協)は、5月17日、熊本全日空ホテルニュースカイで第2回(通算47回)通常総会を開き、来賓、代議員、理事



▲上田淳理事長

が要旨次のようなあいさつをしました。

会など約60人が出席しました。

議長団には八代地区労福協の網代・住宅生協の諏訪両代議員を選出した後、理事会を代表して上田理事長

一般社団法人熊本県労働者福祉協議会
第2回(47回)通常総会



▲議長団に選出された(左から)網代、諏訪両代議員

貧困と格差に苦しむ人たちに寄り添っていく政治が求められている。

少子化や人口減で現役世代の将来も不安だ。今の仕組みでは解決できないので、自助、公助、共助で連帯と協同による福祉型社会を目指すことが目標だが、安倍政権のアベノミクスは一部の人たちだけが潤っているし、さらに解雇の金銭解決など労働の規制緩和が進められようとしている。私たちが目指す政策とは大きく異なっている。

夏の参院選は、有権者として理性的な行動をとってほしい」

続いて、熊本県商工観光労働部・商工労働局の下村労働雇用課長と、熊本市農水商工局の原山総括審議員が、それぞれ蒲島知事、幸山市長の「共助の理念に基づき支え合い助け合いの活動を展開してください」「市も産業成長政策や雇用、労働者の福祉向上を目指して政令市2年目に取り組みます」とい



▲出席した代議員の皆さん



▲熊本県商工労働局
下村労働雇用課長



▲熊本市農水商工局
原山総括審議員

うメッセージが紹介されました。

上田理事長らを再選

総会は成立宣言がおこなわれた後、吉永専務理事が2012年度事業報告と同決算報告を、道家監事が監査報告をおこない、これらは満場一致で承認されました。また、2012年度剰余金処分案も承認され、2013年度に繰り越すことが決定しました。

次に吉永専務が2013年度事業計画(案)、2013年度会費(案)、2013年度役員報酬総額(案)、2013年度予算(案)を提案、これらも満場一致で承認されました。

役員改選については、理事と監事、幹事が提案され、これも承認された後いったん休会し第1回理事会が開かれ、上田理事長を始めとする理事会の役員が紹介され承認されました。(理事と監事の役員は2面に掲載)

総会は、新旧役員あいさつをおこなった後、スローガンを採択して閉会しました。

一般社団法人の資格を取得して2年目に入った県労福協は、社会的地位が高まると共に、その事業活動や福祉運動の充実がさらに求められています。

2~3 面に関連記事

改善されない弱肉強食の社会

「昨夏の九州北部豪雨による被災にご支援をいただき感謝いたします。

昨年、一般社団法人となり設立総会で『連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう』のスローガンの下に勤労者の暮らしに係るサポート事業や、福祉運動を担う人材育成と教育、多重債務、格差是正など、この1年間取り組んできた。

昨年は「国際協同組合理年」として諸活動を取り組んできたが、現実の社会はリストラや失業で職を失った人、無年金や低年金、生活保護が必要とされている人たちが、制度や仕組みの外に置かれていること、そこに手を差し伸べていくことの認識を改めて深めた。

安倍政権が変わったが、弱肉強食の社会は改善されず、生活保護の削減や働いても生活できないという貧困を生み出している。原因をなくすための雇用や社会保障の拡大と充実が必要だし、

2013年度 事業計画

県内のライフサポートセンターは6カ所に 福祉運動のOB活用、次世代を担う人材育成を



▲吉永専務理事

一般社団法人・熊本県労福協の2013年度の実業計画は、これまでの労福協の方針を踏襲しながら、吉永専務理事が提案説明をおこない承認決定されました。事業計画の概要は次の通りです。

1. 重点課題の取り組みについて

①勤労者の暮らしにかかるサポート事業については、地域を拠点とした暮らしの総合支援事業（ライフサポートセンター）の体制強化とサービス内容の前進、情報や運営、経験交流の共有化を図る。連合熊本の地協再編に伴い、新たに3カ所の相談所を設置、働く人たちの悩みや相談に対応していく。

（3面に県内6カ所の相談所を記載）

②労働者福祉運動を担う人材の育成・教育活動の取り組みは、労働組合役員と福祉事業団体職員が一体となって、福祉事業団体創設の原点に立ち返って相互に協力、連携をとりながら次代を担う人材の育成に努めていく。

③多重債務、格差、貧困の是正を目指

す取り組みは、熊本県多重債務者対策協議会の構成メンバーとして、関係団体との連携を図りながら、情報の共有化を図る。また労金協会作成のブックレット「マネートラブルにかつ!」（マンガ、イラスト入りの分かりやすい冊子）を活用し、多重債務防止・消費者教育をおこない、組合員、地域勤労者、高校生・大学生への啓発活動を推進していく。

④福祉事業団体の利用促進・支援の取り組みは、設立の初心に戻り、労働組合と事業団体が共に運動する主体として、利用促進・拡大を推進していく。

2. 継続的な取り組みについて

①労働金庫や全労済など福祉事業団体と連帯して「ライフプランセミナー・退職準備セミナー」など、生活応援運動を取り組む。

②福祉事業団体との連携など、地区労福協が講演会、セミナー、文化、サークル、スポーツ活動などの活動に取り組みながら、地区労福協活動の活性化を図るとともに、連合熊本が進める地協再編に対応していく。

③連合熊本と連携を強化し、総合支援

事業（ライフサポートセンター）を始め、セミナー開催、県政への要求と提言などを取り組む。

④労働者福祉運動のOBなどで専門的能力を持った人材を有効に活用し、地域の福祉運動のアドバイザー・協力スタッフとして活用できるように、退職者・高齢者と連携して取り組む。

⑤労働運動や福祉運動をより発展させるために、各種研究集会や次世代を担うリーダー育成、ミニ学習会などを開き、研修活動の充実を図る。

⑥勤労者の福祉向上のために、県や県内自治体に、労働者の福祉政策などの要請活動を取り組む。

⑦阿蘇草原の再生、フードバンクの啓発活動、ライフスタイルの見直し、食と水・みどりを守る環境保護、食の安全などに取り組む。

⑧連合熊本や各地区労福協、全労済と連携した防災・減災活動や災害ボランティア組織を取り組む。

⑨熊本県自然災害遺児救援会の財政基盤強化のためのボランティア活動に取り組む。



▲代議員の皆さん



▲選出された理事・監事の皆さん

一般社団法人 熊本県労働者福祉協議会理事会

2013年5月17日

役職名	氏名	選出団体	備考	役職名	氏名	選出団体	備考
理事長	上田 淳	連合熊本		理事	今村 賢治	連合熊本	新任
副理事長	田北 尚勝	連合熊本		理事	友田 孝行	連合熊本	新任
副理事長	手嶋 一弘	福祉事業団体		理事	古庄 栄次	連合熊本	新任
副理事長	松原 義行	福祉事業団体		理事	田中 広幸	福祉事業団体	
専務理事	吉永 徹男	県労福協		理事	鎌先 士郎	福祉事業団体	
理事	田川 仁	連合熊本		監事	園田 立児	連合熊本	
理事	梶田 秀治	連合熊本		監事	山本 寛	連合熊本	新任
理事	佐々木義博	連合熊本	新任	監事	道家 豊	福祉事業団体	

ライフサポートセンターくまもと相談所体制

相談所	相談体制	職員	T E L
熊本相談所	森岡 雅史 事務局長 那須 保 ライフサポートセンターくまもとアドバイザー 岩本 正也 連合熊本アドバイザー	井上千代子	(096) 312-3005
菊池・阿蘇相談所	松田 道雄 議長	熊本 由香	(096) 294-5255
人吉・球磨相談所	宮川 統 事務局長	中村 順子	(0966) 22-0230
肥後・有明相談所	高見 健一 事務局長	富田 久子	(0968) 41-5226
県南相談所	網代 博明 事務局長	西村 明美	(0965) 35-5605
天草・宇城・上益城相談所	小林 一伸 事務局長	出水 夕子	(0964) 53-9337

熊本勤労者住宅生活協同組合 50年の歴史に幕、5月24日解散総会開く

1960年代、労働者の間でマイホームを建てたいという要望が高まったことを受け、県労働者福祉協議会と労働団体が



▲田中広幸理事長

1963年(昭38)熊本勤労者住宅生活協同組合(住宅生協)を設立しました。以来50年間にわたり県内で土地分譲や住宅建設、マンション建設・分譲などの事業を推進し、その数も3951戸数と歴史を重ねてきました。

しかし、バブル経済の破綻後の不況やリーマンショックなどによる景気低迷、労働組合の組織率の低下、組合員の意識の多様化などにより、これまで通りの住宅販売が見込めないという経緯から、2010年に事業の終了が提案され、以後、論議を重ねながら2013年度末に解散する決断を下しました。

以上の状況を踏まえて5月24日に交



▲解散承認の後、退任あいさつをする役員の方々

通センターホテルで、第50回通常総会と臨時総会を開き住宅生協の解散が承認され、50年の歴史に幕を閉じました。

50回目となる通常総会では、田中理事長が「3年にわたり解散に向けた残務整理を行い、本日臨時総会で正式に解散となる」と感慨を込めてあいさつ、2012年度の業務報告や決算・監査報告2013年度の業務計画が承認されました。

引き続き開かれた臨時総会で正式に解散が決定し、役員は退任しました。ただ行政に対する解散の法的手続き

や、2005年に建設されたパークマンション田迎「平成けやき通り」の瑕疵担保責任が2016年12月末となっていることから、清算結了まで田中理事長と今泉、末長両監事の3人と、(株)セイキョウコミュニティーのスタッフで処理を進めることが承認されました。

解散総会終了後は、歴代理事長や理事、連合熊本、県労福協、団地代表者を招いて「謝恩会」を開き、これまでの労苦に感謝の言葉や、思い出話が語られるなどの集いとなりました。



▲解散総会終了後に開かれた「謝恩会」であいさつする5代目理事長の堂園秀徳さん

ユニオン トラベル熊本

ホームページを開設させ個人会員拡大のスタートの年に

ユニオントラベル熊本は6月6日、県労働会館で第45回通常総代会を開き、総代、来賓、理事・監事など約110人が出席しました。



▲楢先理事長

理事会を代表して楢先理事長は「昨夏の九州北部豪雨により観光地阿蘇が被災したり、ボーイング787のバッテリー故障、年末の総選挙で忘・新年会などが減ったり、日中関係の緊張で個人やグループ旅行が減少するなど、目



▲議案を提案する猪塚専務理事

標に対して93.17%の達成率となった。今年度はホームページなどを開設させ個人会員拡大のスタートの年とした」とあいさつしました。

なお、2013年度の事業計画につい

ては猪塚専務が提案し、承認されました。

重点的な取り組みは、①積極的な営業活動の展開で経営基盤の確立。②営業活動は提案型営業、新規会員の開拓、産別・単組の大会やイベントなどの受注拡大。③団体旅行・自社企画商品、特選ツアーなどの販売促進。④独自のチラシ配布やホームページを活用した広報・宣伝。⑤県内各地区推進委員会との連携。⑥福祉事業団体との連携強化による販売促進への協力要請。⑦会員皆様への還元制度の充実などです。皆様のご協力をお願いいたします。

こんにちは
全労済です

東日本大震災、九州北部豪雨災害の教訓を生かして

全労済では東日本大震災や、昨年7月12日の九州北部豪雨災害を教訓として、県民の防災・減災意識を高めるための取り組みを継続的に取り組んでいます。これは「生活協同組合の果たすべき役割」との視点に立ち展開しているもので、具体的には、巨大地震などの自然大災害に備え、日頃から防災準備を図り、発災時にも被害を軽減する知識・行動を身に付けるためのノウ

ハウを提供するセミナーや、行政や地元マスコミ・校区・保育園・幼稚園などと連携したイベントを実施しています。

また、労福協の構成組織である協力団体や他の生協とも連携し、熊本県内の組合員へ「住まいと暮らしの防災・保障点検活動」を展開しています。

イベント内容は、空き缶2個でご飯を炊く「サバイバルめし炊き(略称サバメシ)」や、地震時のガラス破片

に備え、新聞紙でできる「簡易スリッパづくり」・巨大地震に備え津波などへの意識づくりなどのセミナーを開催しています。なお、毎月第3土曜日には、全労済熊本県本部(熊本市中央区本荘)で、防災・減災セミナーを実施中です。是非ご家族ぐるみでご参加を!もちろん無料です。全労済では今後も災害に備えた保障点検活動を行って参ります。※「3土のメンタキ」で「検索」。

医療法人社団
熊本労安会

秋津レークタウンクリニック

いのちと健康が
なによりも大切にされ
一人ひとりが
かけがえのない
存在として尊重される
そんな医療と社会を
めざしています

■診療科目/内科、小児科、リハビリテーション科、居宅介護支援事業

- 理事長/木村孝文
- 院長/山口秀樹
- 入院/無
- 駐車場/有

受付
午前 月曜日～土曜日/9:00～12:00
午後 月曜日～金曜日/2:00～6:00
土曜日/1:30～3:00
※ただし、木曜の午後と土曜日の午後は
鍼灸はお休みです。
休診日/日曜日・祭日

〒861-2105 熊本市東区秋津町秋田3441-20 ☎368-6007

ユニオントラベル熊本からあなたへ

ユニオントラベル熊本 日帰り特選バスツアー

夏休みの思い出に!お父さん連れてって!

Presented by Global Creatures in association with BBC Worldwide Ltd
BBC EARTH
WALKING WITH DINOSAURS
LIVE ARENA TOUR IN JAPAN
ウォーキング・ウィズ・ダイナソー ライブアリーナツアー イン ジャパン

出発日
2013年8月15日(木)
ご旅行代金(おひとり様)
大人 15,000円
小人 12,800円

※往復バス代、チケット代(S席)、観光入場料、昼食代、高速道路代
※添乗員同行いたします。最少催行人員30名

ご注意!! 3才未満のお子様でも座席と食事が必要な場合は10,000円必要となります。
また、1月16日よりチケットは買取となりますのでご注意ください。

①	熊本駅新幹線口 8:00出発	(高速道路利用)	北九州市立いのちの旅博物館 10:40～11:40
	ランチバイキング ホテルクラウンパレス北九州 11:50～13:00		ウォーキング・ウィズ・ダイナソー鑑賞 マリンメッセ福岡 14:00～17:30
			休憩1回 (高速道路利用)
	熊本駅新幹線口 19:30頃		

お問い合わせは



生協法人 **ユニオントラベル熊本**

TEL(096)371-2022
FAX(096)363-2866

熊本市中央区九品寺1丁目17-9 熊本県知事登録2-34号 総合旅行業務取扱管理者 松永裕子

編集後記

昨年7月の記録的な大雨で、阿蘇地域、熊本市の龍田地区に甚大な被害をもたらした「九州北部豪雨」から1年が経ちました。

近年、地震や津波、風水害による自然災害が多発しています。大災害が私たちの日常生活や生き方に突きつけたものは、すこぶる大きいものがあります。①自然の前に科学技術は無力であるという事実を目の当たりにしました。②「経済成長は人間の幸せのためにある。手段であって目的でない」という当たり前のことに気づかされました。③使い捨ての消費、エネルギーの浪費を続けてきたこれまでの生活のあり方、生き方も見直しが迫られています。

一方で、私たちは人への信頼と絆が、人間社会にとっていかに大切であるかということを再認識しました。

(T・Y)